開倫塾ニュース2019年1月号巻頭言原稿	2018年10月27日

開倫塾を活用して自己学習能力を身に着け、多様な選択肢のある人生を歩もう。
正常に機能する社会（持続可能な社会）の形成に貢献しよう

開倫塾
塾長　林明夫

Ｑ１：「開倫塾ニュース」は、この1月号で創刊30周年、360号になるそうですね。おめでとうございます。なぜ、30年前に「開倫塾ニュース」を創刊したのですか。

Ａ　：（１）理由は、ただ一つ。開倫塾の教育目標である「自己学習能力の育成」を果たすためです。

（２）開倫塾の社会的使命、ミッション、存在理由は、「自己学習能力の育成」です。どのようにしたら「自己学習能力の育成」が果たせるかのみに焦点を当て、毎月 1 回、皆様とともに考えることが「開倫塾ニュース」の役割です。

（３）第 1 号を発行した 1989 年は、開倫塾創業 10 周年でした。1979 年に創業した開倫塾がようやく軌道に乗り、教育目標も少しずつ広まっていました。そこで、創業 10 周年を記念し、毎月 1 日に「開倫塾ニュース」を発行して「自己学習能力の育成」を具体的にお伝えし、少しでも身に着けて頂きたいと決意いたしました。

Ｑ２：では、お聞きします。「自己学習能力」とは何ですか。

Ａ　：ご質問頂き、ありがとうございます。

（１）「自己学習能力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」です。

（２）「自己学習能力」こそが「学力」です。

（３）「学力」とは、「自己学習能力」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」を意味すると考えます。

Ｑ３：そのような意味での「学力」、つまり、「自己学習能力」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」が身に着くと、どのような成果が得られますか。

Ａ　：（１）これも、教育の成果、教育の本質に迫る素晴らしいご質問です。

（２）「学力」が身に着くと、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。「人生における選択肢」が「多様」になります。

（３）例えば、ウエラブル（身に着けられる）端末である iWatch、iPhone(スマホ)、iPad、パソコンなど 4 機種の機能や操作方法を自分の力でよく学習（自己学習）して正確に身に着けると、様々なことができるようになります。「人生における選択肢」が「多様」になります。

＊農林水産業や製造業だけでなく、運輸・金融・医療・介護・福祉・観光・教育などすべての産業分野で、4 機種は欠かせないものとなります。これから訪れる「スマート社会」

を支えるのは、4機種だからです。

（4）英語による情報収集や情報発信が自由自在にできると、「選択肢」は指数関数的に「多様」になります。

（5）このように、「自己学習能力の育成」が求められるのは、学校での教科の学習や受験勉強だけではありません。仕事や社会的活動、よく生きるためにも不可欠です。

（6）何よりも、AI（人工知能)や IoT(もののインターネット)、ビッグデータなど「最先端の情報技術を活用しての課題解決」に、「自己学習能力」は欠かすことができません。

（7）ですから、スマホでゲームやラインなどに多くの時間を使っている場合ではないのです。本格的に最先端の情報技術を自己学習して身に着けなければ、大学や専門学校などでの勉強や、仕事や社会的活動の幅・選択肢がどんどん狭まってしまいます。

＊スティーブ・ジョブズの伝記は、現代の必読書です。ジョブズがどのような思いでこれらのものを作り続けたのか、その精神を学んだうえで使いこなしてください。ゲームやラインをする時間があったら、数学や科学や芸術はじめすべての学科を学びながら、これら4機種を使いこなしてください。

Q４：「学力」を身に着けると、「正常に機能する社会（持続可能な社会）の形成」にどのように貢献できるのですか。

A　：（1）「自己学習能力の育成」は、「地域の教育力向上」に直結します。

（2）さらには、社会の仕組みを担当する一人一人が「自己学習能力」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」を身に着けていると、社会が正常に機能します。経済や社会の大変動、自然災害に見舞われた場合にも、強靭性・柔軟性を持って対処することができます。

（3）経済や社会の大変動、自然災害を事前に予測したり、最悪の場合を想定して事前に対処することもできます。予防し、迎え撃つことも可能です。これが、「自己学習能力」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」が、「正常に機能する社会(持続可能な社会)の形成」に貢献することの意味と考えます。

Q５：最後に一言どうぞ。

A　：学校での勉強は、全教科ともすべて役立ちます。小学校・中学校・高校・大学・大学院などでの勉強は、一生涯にわたりすべて役立ちます。ですから、学校の教科書や教材、授業ノートは処分することなく、「自分自身の宝物」として大切に保存し、一生かけて自分の力で学び直すことが求められます。これが「自己学習能力」です。